

# 1. 地域情報化基本計画の策定について

## 1.1 策定目的

情報通信技術（ICT）の進展は、単に経済産業システムの高度化・効率化といった範囲にとどまらず、今や住民生活の様々な分野にまで浸透しており、ICTは、我々が暮らす社会全体を支える重要な基盤として、その役割は一層大きなものとなってきています。

また、昨今ではクラウドコンピューティング\*<sup>1</sup>に代表されるよう、あらゆるサービスがインターネットを通じて提供される仕組みが急速に進展してきており、地域社会においても、これまで以上にICTの有効活用を検討していかねばならない状況となっています。

このような情報化の流れにも対応していくため、肝付町では、平成19年度より実施を進めている「第一次肝付町総合振興計画」において掲げる「情報通信基盤の整備」の具体的な事業展開に向け、平成22年度より、町内全域を対象とした光ファイバー網の整備を進めているところです。

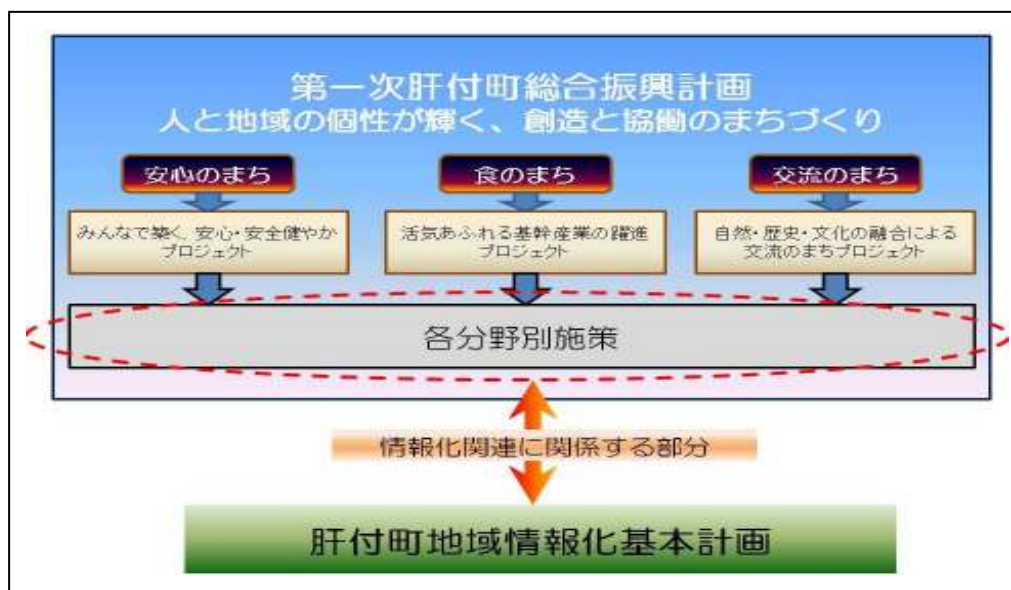
今回策定する地域情報化基本計画は、この光ファイバー網の利活用をはじめとした、今後の肝付町における情報化推進事業の基本構想を示し、総合振興計画の着実な実現をICT利活用の観点から図っていくことを目的としているものです。

## 1.2 計画の位置づけと検討範囲

本基本計画は、第一次肝付町総合振興計画において定められた各分野ごとの施策方針の実現に際し、ICTの利活用をどのように進めていくかを示すものとして位置づけられるものであり、今後、肝付町における地域情報化関係の事業は、本基本計画に沿って個々の具体的な内容を進めていくこととなります。

なお、第一次総合振興計画は、平成28年度までの10年度計画ですが、本基本計画は、変革著しい情報通信分野を対象とする関係もあり、基本的に平成23年度から最大で5カ年を対象範囲とするものです。また、5ヶ年の計画範囲の途中においても適宜、内容の見直し等を進めてまいります。

図 1-2-1 計画の位置づけ



### 1.3 検討の流れ

地域情報化基本計画の策定に際しては、九州内のICT分野に関する産学官及び地元関係者から構成される専門の調査検討委員会である「肝付町地域情報化基本計画策定委員会（委員長：長崎総合科学大学環境・建築学部教授 横山正人氏）」を設置し、本基本計画策定に関して、それぞれ委員ご専門の立場からご意見をいただくとともに、計画案についても、幅広い視点からご審議していただきました。

また、この委員会での議論の他、町民の方々に対しても、アンケート調査を実施させていただき、地域情報化に対する町民の皆様方のご意見も反映させていながら具体的な計画策定に取り組んでまいりました。

図 1-3-1 検討の流れ

